育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・ 内容と評価の在り方に関する検討会(第6回) 平成25年6月27日 配付資料 (国立教育政策研究所)

求められる資質・能力の枠組み試案

参考資料8

21世紀型能力:「生きる力」としての知・徳・体を構成する資質・能力から、教科・領域横断的に学習することが求められる能力を<u>資質・能力として抽出し</u>、これまで<u>日本の学校教育が培ってきた資質・能力を踏まえ</u>つつ、それらを「基礎」「思考」「実践」の観点で再構成した日本型資質・能力の枠組みである。

生きる力



21世紀型能力

実践力

- •自律的活動力
- ·人間関係形成力
- •社会参画力
- ・持続可能な未来への責任

思考力

- ·問題解決·発見力·創造力
- ·論理的·批判的思考力
- ・メタ認知・適応的学習力

基礎力

- -言語スキル
- ・数量スキル
- ・情報スキル

①思考力を中核とし、 それを支える②基礎力と、 使い方を方向づける③実践力 の三層構造

- 1) 実践力が21世紀型能力、引いては生きる力に繋がることを示すために、円の最上に位置づけ
- 2) 3つの資質・能力を分離・段階的に捉えず、重層的に捉えるため、3つの円を重ねて表示(例:基礎力は思考力の支えとなるが、思考力育成に伴って基礎力が育成されることもある)
- 3) いかなる授業でも3つの資質・能力を意識して行うために、3つの円を重ねて表示

各能力の下位要素については、さらに検討を進めている